

講義科目名称	応用言語学研究VI	副題	Reflective Teaching Practices
英文科目名称	Applied Linguistics Studies VI		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2単位	必修選択
担当教員			
神谷 信廣			

英語コミュニケーション	講義
添付ファイル	

授業種類	実務経験のある教員等による授業科目
	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業科目
	<input type="checkbox"/> 実務家を招へいして実施する授業科目
	実務経験・授業での活用、招へいする実務家等
	授業で使用する言語
	<input type="checkbox"/> 日本語
	<input checked="" type="checkbox"/> 英語
	<input type="checkbox"/> その他
	アクティブラーニング
	<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング要素を取り入れている

授業の内容 (概要) 教室内の第二言語習得に関する様々なトピックを学び、それらを自分の授業で実践したものを録画し、授業内でお互いに見合い、その内容に関して話し合う。それらを通して、教室内の第二言語習得に関する様々なトピックを理解し、専門的な学習の基礎知識を身につける。授業形式は、課題として授業実践を行い、その内容について受講者同士で議論を深めたり、教員の講義を受けたり質疑応答をしたりして、双方向あるいは多方向に行われる授業を展開していく。(上記「授業種類」に記載されているように、この授業は「実務家教員」による教室内の第二言語習得に関する様々なトピックについて考察し、その実践を行い、さらに振り返りを行うことにより理解を深める。

授業の目的

到達目標

教室内の第二言語習得に関する様々なトピックについて学ぶことによって、今後の自分自身の英語学習やティーチングに活用できるようになる。

授業計画	第1回	Introduction	現在自分が課題としている、教室内における第二言語習得に関するトピックにはどのようなものがあるかを学生相互で話し合う。その後、コース全体の概要と、それぞれの授業で扱う内容の概要を説明する。最後にプレゼンテーションの割り当てを決める。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第2回	Listening	担当の学生が、自分が撮影したリスニング活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的なリスニング指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第3回	Reading	担当の学生が、自分が撮影したリーディング活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的なリーディング指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第4回	Speaking (Speech)	担当の学生が、自分が撮影したスピーキング (発表)活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的なスピーキング (発表)指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第5回	Speaking (Interaction)	担当の学生が、自分が撮影したスピーキング (やり取り)活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的なスピーキング (やり取り)指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第6回	Writing	担当の学生が、自分が撮影したライティング活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的なライティング指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第7回	Grammar	担当の学生が、自分が撮影した文法を教える活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的な文法指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第8回	Vocabulary	担当の学生が、自分が撮影した単語を教える活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的な単語指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第9回	Pronunciation	担当の学生が、自分が撮影した発音を教える活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的な発音指導について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第10回	Teacher talk	担当の学生が、自分が撮影したティーチャー・トークのビデオをシェアして、その意図を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的なティーチャー・トークについて説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第11回	Oral corrective feedback	担当の学生が、自分が撮影した口頭の間違いに対する訂正フィードバックを行う活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的な口頭の間違いに対する訂正フィードバックについて説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第12回	Written corrective feedback	担当の学生が、自分が撮影した筆記の間違いに対する訂正フィードバックを行う活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的な筆記の間違いに対する訂正フィードバックについて説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第13回	Implicit knowledge, explicit knowledge, & automatization	担当の学生が、自分が撮影した暗示的知識と明示的知識の定着や自動化を目指した活動を実践したビデオをシェアして、その活動の目的や目標を説明し、他の学生とのディスカッションをリードする。その後、第二言語習得の研究から考えられる効果的な暗示的知識と明示的知識の定着や自動化を目指した活動について説明する。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第14回	Preparation for demonstration lesson	学んできたことを実践する最後の研究授業の授業案を持ち寄り、内容について討議をして、お互いにフィードバックを与える。(実務家教員による授業、双方向または多方向に行われる討論を伴う授業)
	第15回	Demonstration lesson & Conclusions	研究授業を実践し、授業を参観する。その後討議を行い、研究授業並びに本授業で学んだことを振り返り、今後の自分自身の英語学習やティーチングにどのように生かしていくのかを話し合う。

テキスト

特になし。

テキスト購入方法

特になし。

参考文献

特になし。

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Presentations: 20%</li> <li>2. Reflections: 20%</li> <li>3. Comments on reflections: 5%</li> <li>4. Analyses of classroom practices: 20%</li> <li>5. Comments on analyses: 5%</li> <li>6. Reflection paper: 30%</li> </ul>
教員への連絡方法	メールを使用する。文面は英語で書くこと。
履修上の注意	授業は英語のみを用いて行う。
授業外学修情報（予習復習）	<p>事前学習：次回の学習事項を授業で実践してそのシーンを録画する。次回の発表者以外は、そのビデオを説明と共に他の学生とシェアして、他の学生は、それに対するコメントをオンラインに投稿する。</p> <p>事後学習：授業の振り返りを英語で書き投稿する。他の学生は、それに対するコメントを投稿する。</p> <p>1回の授業に対して、合計約2時間の予習・復習を行うことが求められるので、1学期の授業外学修時間は合計30時間となる。</p>
学生へのメッセージ	毎時間の予習、復習が大切です。